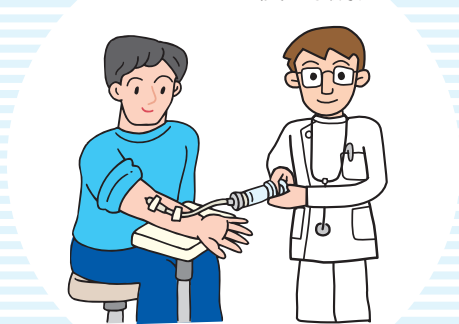


検査の受け方

①おくすりを注射します。その後、おくすりが全身に行きわたるまでお待ちいただきます。

骨シンチグラフィは2～3時間後、ガリウムシンチグラフィは2～3日後の撮影となります。



②検査結果の精度を向上させるために、撮影の前に骨シンチグラフィの場合は排尿をお済ませください。ガリウムシンチグラフィの場合は下剤の服用などをお願いする場合があります。

③専用のカメラの下で安静にします。カメラが体内のガンマ線を測定します(約30分)。



④検査結果の説明を受けます(当日または後日、担当医から)。

核医学検査は、特殊な検査ではありません

核医学検査は、大きな病院では、日常的に行われている検査です。

大学病院、公立病院などを中心に全国、約1200病院で、年間140万件行われています。

安全で患者様の苦痛の少ない検査として、広く用いられています。

このため、特殊な検査というわけではありません。

メモ欄

監修

慶應義塾大学医学部

名誉教授 久保 敦司 先生

■関連ホームページ

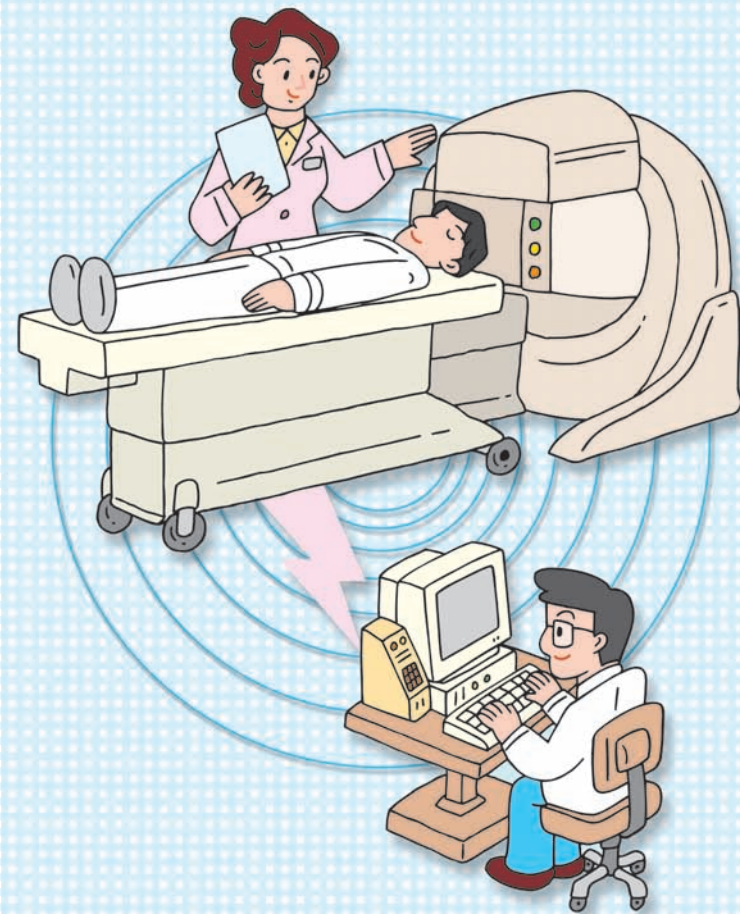
1. 日本核医学会: <http://www.jsnm.org>
2. 日本アイソトープ協会: <http://www.jrias.or.jp>
3. 日本メジフィジックス株式会社: <http://www.nmp.co.jp>

作成 日本メジフィジックス株式会社

'10-08改訂
TA-1008-G06

核医学検査のご案内

—骨シンチグラフィ ガリウムシンチグラフィ編—



病院名

核医学検査ってなに？

核医学検査とはレントゲン撮影で用いられるX線のなかまであるガンマ線を放出する放射性同位元素(以下、RI)を用いた検査です。

からだの特定の臓器や病気の状態に集まりやすい性質をもった物質にRIでしるしをつけたもの(以下、放射性医薬品)を注射し、からだの外から専用のカメラでガンマ線を測定することで、病気や臓器の状態の診断を行います。

安全なの？

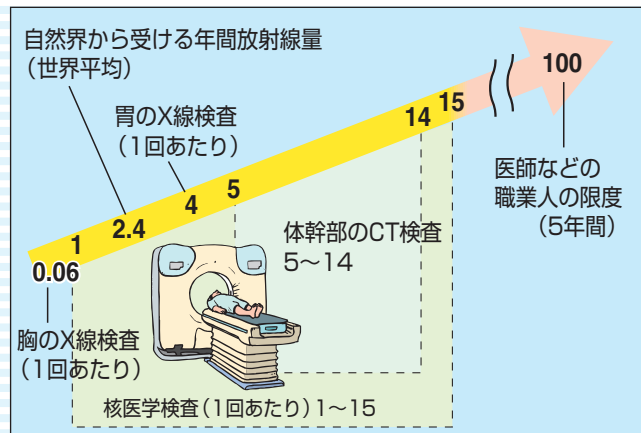
放射性医薬品の放射能は微量で、時間とともに少なくなる性質をもっています。

また一部は体内で代謝されて体外へ排出されるため安全です。¹⁾

副作用の発現はごくまれで、あったとしても、その大部分が軽度のものです。

また、患者様の受ける放射線の量は通常のX線検査と比べても、決して高いものではありません。

放射線と医療²⁾



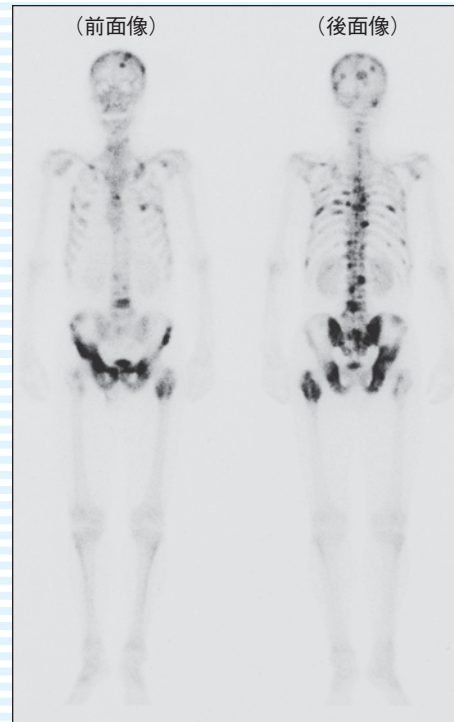
単位:mSv(ミリシーベルト)

なにがわかるの？

■ 骨シンチグラフィ

骨の組織に集まる性質をもつ放射性医薬品を注射し、それから出る放射線の様子を写真に撮って、がんの骨転移、外傷などによる微小骨折など、X線検査ではわかりにくい様々な骨の状態を詳しく調べることができる検査です。

骨転移の治療前後で治療の効果をみたり、疲労骨折や骨粗しょう症による骨折を早期に発見したりするのに用いられています。

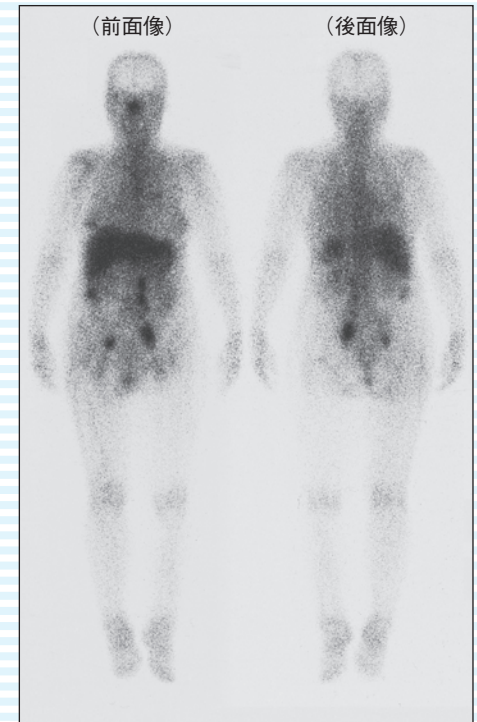


骨シンチグラフィの画像
(乳がんの骨転移)

■ ガリウムシンチグラフィ

腫瘍や炎症に集まる性質をもつ放射性医薬品を注射し、それから出る放射線の様子を写真に撮って、腫瘍・炎症の場所や状態を調べることができる検査です。

また、原因の特定できない発熱の原因を調べるために行われることもあります。



ガリウムシンチグラフィの画像
(悪性リンパ腫)

■ 出典および解説

¹⁾ 放射性医薬品副作用事例調査報告 第30報(核医学46:29-41,2009)

²⁾ 核医学Q&Aなぜ核医学検査を受けるの？

(日本核医学会、日本核医学技術学会、日本アイソトープ協会)